

群馬県立太田特別支援学校 学校評価一覧表(令和6年度版)

(様式)

評価対象	評価項目	具体的数値項目	方 策	点検・評価		達成度	達成状況の分析	学校関係者評価	次年度の課題
				自己評価	外部アンケート等				
I 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。	○Tayo通信や学部だより、学校Webページ等から「学校の様子がよく分かる」と保護者の90%以上が評価している。	小学部主事 中学部主事 情報部	○各種通信や学校Webページを分かりやすい表現で作成し、内容の充実を図る。学校Webページの「学校ブログ」の更新を週に一度行い、様子を伝える。			※自己評価、外部アンケート調査等をもとに改善策を明確にして公表します。		
		○授業参観や学校行事、PTA活動等に「参加しやすい」と90%以上の保護者が評価している。	教務部 渉外部	○保護者が参加する行事やPTA活動について参加しやすいように見直し、精選したりする。 ○学部や各種委員会での保護者の意見を毎学期集約し、関係者が参加しやすい学校行事やPTA活動の内容の改善を行う。					
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	○個別面談や日頃の相談等、「学校はお子さんのことなどについて適切に対応している」と、90%以上の保護者が評価している。	小学部主事 中学部主事	○保護者の話を丁寧に聞き、思いや意見をくみ取り、特に日頃の相談においては、タイムを過ぎず適切に対応する。内容に応じて、学年・学部等で検討したり関係機関と連携を図ったしながら支援を行う。					
		○「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」について、学校と保護者との共通理解に基づいて作成されたものになっていると、90%以上の保護者が評価している。	学習指導部	○個別面談や担当者会議において、児童生徒の実態から、目指す姿や方針、支援内容について保護者の要望を聞き、丁寧な合意形成を図る。					
II 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	○外部の幼児児童生徒等に対する相談に園や学校に出向いたり、電話や来所による相談に対応したりして、相談者の90%以上が有益であったと評価している。	地域支援部	○年度当初に地域の学校園に対して案内を送付し、HPにも訪問事項を掲載することで事業の主旨の周知を図る。相談者や対象幼児児童保護者、学校園の環境等を考慮し、支援者に寄り添った有効な手立てを具体的に提案する。					
		○年間6日実施の学校見学、3日実施の学校参観の受け入れ人数を増やすとともに、個別でも学校見学の希望者を受け入れ、85%以上の参加者が満足と評価している。	地域支援部	○地域支援部が中心となり、センター的機能は学校全体で取り組むものという確認をしながら各学部・分掌との連携・協力を体制を継続し、参観者を受け入れていく。					
III 幼児児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導を行っていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	○「個別の指導計画」について、児童生徒や保護者のニーズを尊重しながら、児童生徒の実態に合った内容になっていると、保護者の90%が評価している。	学習指導部	○個別面談や日頃の連絡を通して、保護者の思いやニーズを聞き取り、「個別の指導計画」を作成する。個別面談時には、実物の教材や映像等を活用し、具体的な支援の方法や児童生徒の姿が保護者に伝わるように工夫する。また、学習指導要領を基に指導目標や指導内容を決定していることを伝える。					
		5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	学習指導部	○目標の設定やその手立て、評価について、学習指導要領に基づいたものになっているか、児童生徒の実態に応じたものになっているか等について、担任間、学年、学部で検討する機会を計画的に設ける。また、定期的に目標や指導方法を見直し、より児童生徒の実態に合ったものになるよう更新していく。					
		○校内研修や各自で受講した研修内容を授業改善や指導等の工夫に生かしていると90%以上の教員が評価している。	研修部	○校内研修に参加者が意欲的に取り組めるように、研修係が研修を企画し、計画的に実施をする。 ○外部の研修案内や資料を周知し、職員が研修しやすい環境を整える。					
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	○児童生徒一人一人の健康上の配慮や対応について満足していると保護者の90%以上が評価している。	保健給食部	○児童生徒の健康上の配慮や生活習慣の確立に向けた情報共有を季節や行事に合わせ、面談や連絡帳等で行う。					
		7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	安全管理部	○職員会議で、『緊急時対応マニュアル』の周知を行う。 ○緊急時避難訓練を行う際に、事前に『危機対応マニュアル』を確認するようにアナウンスする。					
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	○キャリア教育全体計画に基づき、発達段階や生活年齢に応じて、将来に向けた指導(生活集中週間、作業集中週間等を含む)が計画的に行われており保護者の90%以上が評価している。	進路指導部	○個別面談等で生活中週間、作業集中週間、就労社会体験が将来の生活とどのように関連しているかを保護者と確認するとともに、保護者のニーズも吸い上げて、児童生徒一人一人にあった目標を設定する。					
		○キャリアパスポートは、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返りながら、自身の変容や成長を自己評価できるように、有効的に活用されていると保護者の90%以上が評価している。	進路指導部	○キャリア教育に関わる諸活動について、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返りながら、自身の変容や成長を自己評価できるように、児童生徒の発達段階や生活年齢に応じたキャリアパスポートを作成する。					
	9 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	○学校は児童生徒の将来の生活に向けた進路指導を、関係機関と連携をして行っていると保護者の90%以上が評価している。	進路指導部	○保護者向けに高等部(高等特別支援学校)の職員による講話を設定したり、中学部において進路選択の関心を高める授業の紹介をしたり、卒業後の生活についての理解を深める情報提供を行う。					